記者発表資料

平成２７年 ３月 ２日
国 土 交 通 省
磐 城 国 道 事 務 所

一般国道６号　常磐バイパス

「橋名板揮毫（きごう）引渡式」のお知らせ

～常磐バイパスの橋名板を書いて頂きました～

常磐バイパスはいわき市の市街地部の交通渋滞・沿道の道路環境など、交通を取り巻く環境の改善と主要幹線道路としての機能強化を目的に、昭和４１年に事業着手、平成１２年の全線２車線開通に続き、順次４車線化の事業を進めております。

いわき市泉地区の４車線化に先立ち、事前に開通区間にある橋梁（４橋）の橋名板の文字を地元区長様及び小学生の方に書いて頂いております。

この度、その方々をお招きして揮毫引渡式を行いますのでお知らせ致します。

１．日　　時：平成２７年３月３日（火）１６：００～

２．場　　所：もえぎ台集会所【別添図参照】

３．式典内容：別紙の通り

４．常磐バイパスの概要

延　長：　全　延　長　２７．７km
　　４車線化済み　１６．８km
　　今年度供用　　１．３km

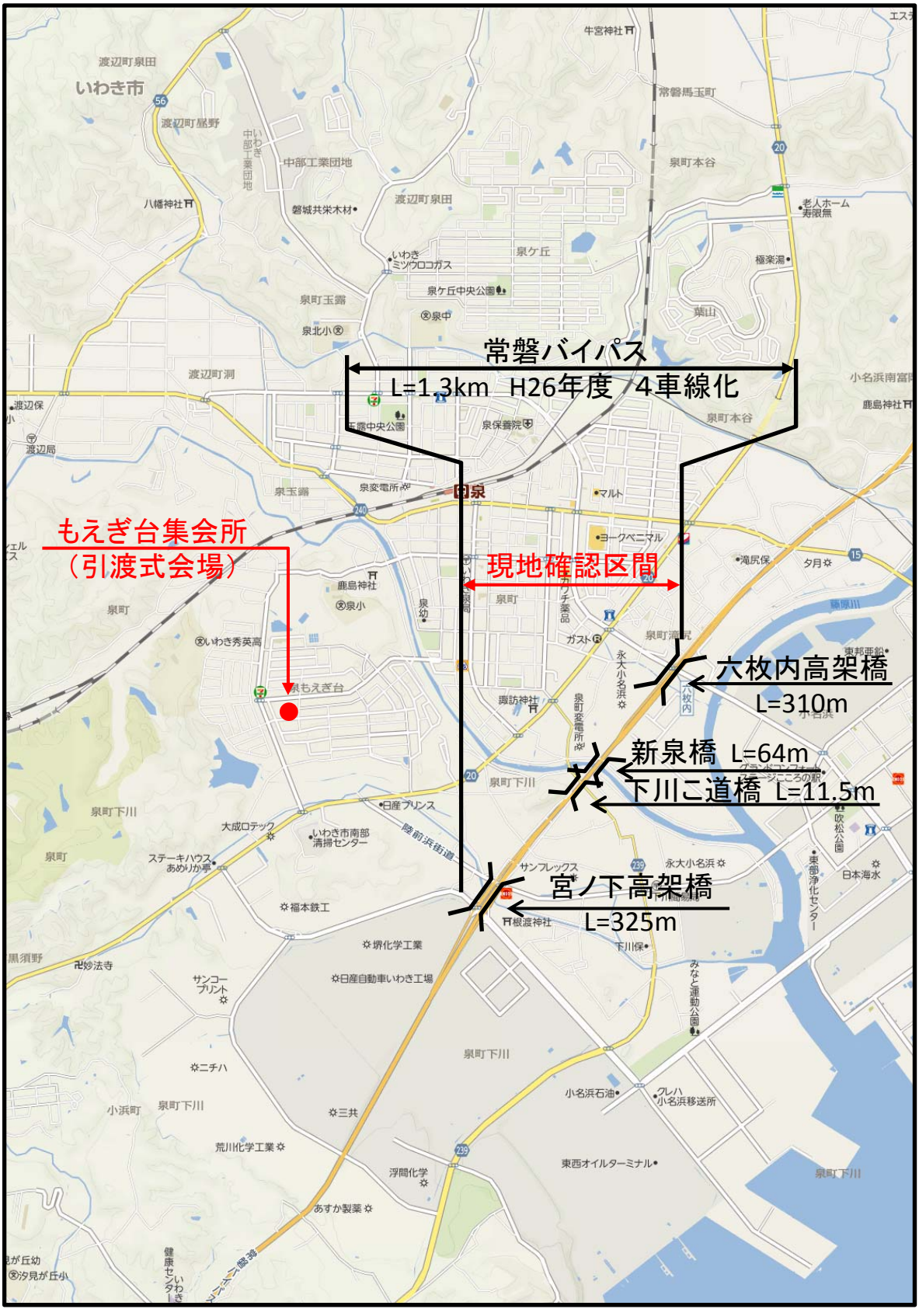
幅　員：　暫定　１３．０m(3.0+1.5+7.0+1.5)
　　完成　２５．０m(3.0+1.5+7.0+2.0+7.0+1.5+3.0)

車線数：　完成４車線　暫定２車線

※発表記者会等:いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞

問い合わせ先	
【事業に関するお問い合わせ】 国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所　0246-23-2211(代表) 副所長　千葉（ちば）　富彦（とみひこ）　（内線204） 工務課長　岩渕（いわぶち）　誠（まこと）　（内線411）	【式典に関するお問い合わせ】 国土交通省 東北地方整備局 平出張所　0246-34-8394 出張所長　阿部（あべ）　要（かなめ） 大成ロテック株式会社　090-3737-9509 現場代理人　平塚（ひらつか）　悟史（さとし）

■現地位置図



常磐バイパス
L=1.3km　H26年度　4車線化
もえぎ台集会所
（引渡式会場）
現地確認区間
六枚内高架橋
L=310m
新泉橋　L=64m
下川こ道橋　L=11.5m
宮ノ下高架橋
L=325m

一般国道６号　常磐バイパス（３工区）
橋名板揮毫（きごう）引渡式 次第(案)

日時：平成２７年３月３日（火）
１６時００分～
場所：もえぎ台集会所

１．開式

２．橋名板揮毫（きごう）引渡
①下川区長
②滝尻区長
③泉小学校
※引渡し後、揮毫者から一言頂戴する予定です

３．お礼の言葉（磐城国道事務所長）

４．記念品贈呈（施工者：大成ロテック（株））

５．閉式

６．記念撮影

７．橋名板設置場所確認（マイクロバス乗車）

【揮毫（きごう)】
（筆をふるう意）書画をかくこと。(広辞苑)
毛筆で文字や絵をかくこと。特に、知名人が頼まれて書をかくこと。
（大辞林）

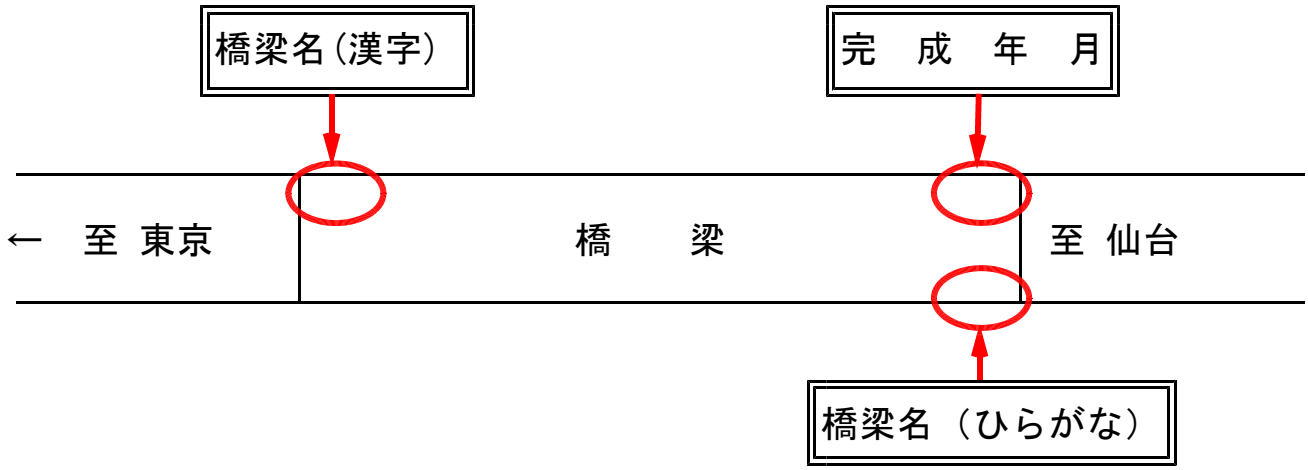
【橋名板を設置する橋梁】

◆宮ノ下高架橋（橋長　３１０．０ｍ）
◆新泉橋　　（橋長　　６４．０ｍ）
◆下川こ道橋　（橋長　　１１．５ｍ）
◆六枚内高架橋（橋長　３２５．０ｍ）

【揮毫（きごう）者】

◆泉町下川区長　中島千光（なかじませんこう）　様
「宮ノ下高架橋」「下川こ道橋」
◆泉町滝尻区長　吉田昇賢（よしだしょうけん）　様
「新泉橋」「六枚内高架橋」
◆泉小学校６年生
「みやのしたこうかきょう」「しんいずみばし」
「しもかわこどうきょう」「ろくまいうちこうかきょう」

【橋名板の設置位置】



【橋名板の設置例】国道６号常磐バイパス　三沢大橋



一般国道6号常磐バイパスの全線4車線化を推進①

走行性・安全性が向上するとともに、地域間の交流促進を支援

走行性の向上と交通事故の減少が期待されます。

○ボトルネックが解消され、走行性が向上します。
○渋滞が主な要因となって起こる「追突事故」の減少が見込まれます。

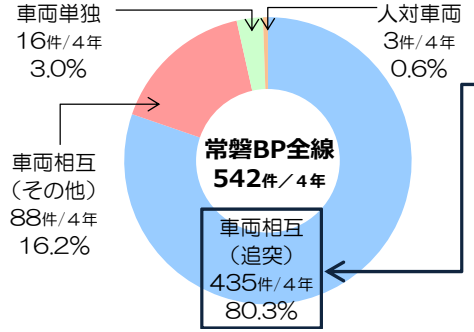




4車線化により走行性が向上

全線所要時間
45分→**33分**
12分短縮

▲所要時間の変化



▲交通事故の発生件数

事故全体の約８割が渋滞が主な原因となって起こる追突事故

追突事故を中心に減少見込み

資料：イタルダデータ（H21～H24）

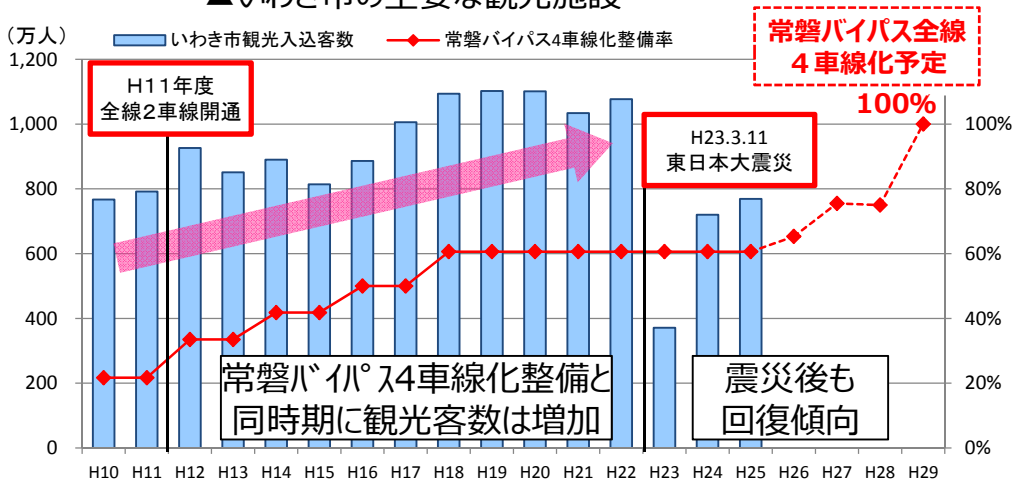
地域間の広域的な交流促進が期待されます。

○これまで常磐バイパスの４車線化整備と同時期に、いわき市の入込観光客も増加してきました。
○全線４車線化により地域間交流のさらなる促進が見込まれます。



（数字はH25観光客数）

▲いわき市の主要な観光施設



▲いわき市入込観光客数の推移

資料：福島県観光入込客数

一般国道6号常磐バイパスの全線4車線化を推進②

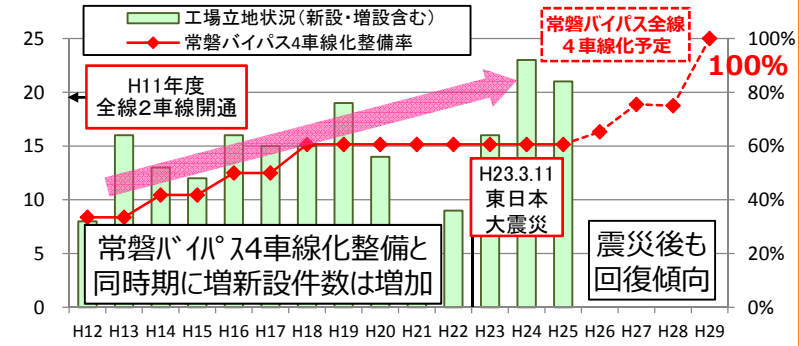
港湾アクセスの向上により物流や企業活動を支援

小名浜港へのアクセス向上による港湾関連の物流効率化や、沿線地域での企業活動を支援します。

○高速ＩＣから小名浜港までの所要時間が短縮し、アクセスが便利になります。

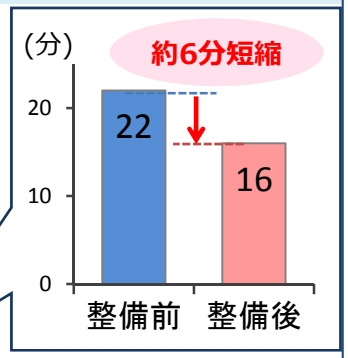


▲小名浜港周辺の企業立地



▲いわき市の工場増新設件数の推移

資料：「平成25年工場立地状況について」福島県商工労働部企業立地課



▲高速IC～小名浜港の所要時間

資料：民間プローブデータ

●小名浜港周辺整備による拠点性の向上

小名浜港　東港地区整備（小名浜港国際物流ターミナル）

H30年度供用予定

▼

取扱量増加の見込み

小名浜港背後地への大規模商業施設の進出

H27年度一部供用予定

▼

買い物客増加の見込み

港湾アクセスの向上により小名浜港関連の物流効率化や集客を支援

常磐バイパス４車線化への期待の声

■救急搬送時の走行性や安定性の向上
■業務効率化や通勤利便性の向上

常磐バイパスの４車線化について



■くも膜下出血で搬送の際に振動で出血し亡くなった事例があり、患者に振動を与えないように常に気を付けています。
■４車線化された際には、**時間短縮に期待**しています。また、**絞り込みの混雑がなくなる**ので加減速が減ると思われるため、**振動の軽減にも期待**しています。

（いわき市消防本部の声）

今回の４車線化区間（宮ノ下～六枚内）について



■小名浜港から勿来IC付近まで原料輸送で毎日ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ延べ200台以上を稼働しているため、**2車線区間の渋滞で回転率が落ちると余計なコストがかかります**。
■4車線化によって**運行時間が削減され業務を効率化できるよう期待**します。



■通勤時間帯は朝夕共に渋滞しており、**渋滞を見込んで早めに出勤**しています。
■渋滞がなくなることで、**追突事故のリスクも低くなる**と思います。

（沿線企業の声）

資料：H27.2ヒアリング調査